

キャリア形成卒前支援プランの策定について

1 卒前支援プランの概要

キャリア形成卒前支援プランは、各大学で実施している医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として、都道府県が大学の協力も得つつ策定した計画案により地域医療対策協議会において協議の調った事項に基づき策定する計画をいう。

キャリア形成卒前支援プランは、キャリア形成プログラムへ連続するものとし、これらは卒業前と卒業後で一貫して運営することを目途とする。

(参考資料3：キャリア形成プログラム運用指針抜粋)

(1) 対象

ア 地域枠で入学した学生

イ 自治医科大学の学生

ウ その他キャリア形成プログラムの適用について同意した学生

※令和5年度以降の入学者に適用し、募集要項に記載する等、入学者の選抜をするときまでに通知し、事前に対象者の同意を取得する。

※令和5年度以前の入学者は、本人の同意を得て適用に努める。

(2) 対象期間

入学時又は当該プランの適用の同意を得た時から卒業時まで

(3) プランの内容

大学や医療機関等と連携し、地域医療に関する実習や講義の支援、定期的な勉強会等の開催及び対象学生の支援のための寄附講座の設置等の方法により、対象学生が将来従事する地域と接する機会を提供し、対象学生の将来地域医療に従事する意識の向上に資する。

原則として、医学部の教育カリキュラムとは別に策定するものであるが、既存の教育カリキュラム内において、地域医療に関する教育を行っている場合には、これを活用して卒前支援プロジェクトを位置づけることや、連動した取組を実施することが望まれる。

各卒前支援プロジェクトでは、大学内の講義にとどまらず、医師の確保を特に図るべき区域等、将来キャリア形成プログラムにより従事することが見込まれる医療機関や地域においても行うこととする。

2 本県の卒前支援プラン策定方針

- 対象学生のキャリアイメージの涵養
- 地域医療に対する意識の涵養
- 医師少数区域・少数スポット等、医師確保を図るべき地域の医療に接する機会を提供
- 医療機関と学生又は学生同士の情報交換・交流の場の提供

3 キャリア形成卒前支援プラン（案）

上記策定方針に基づき、卒前支援プロジェクトとして、自治医科大学における教育カリキュラム、県内4大学に設置されている寄附講座の教育カリキュラムのほか、各種研修会を実施する。

また、キャリアコーディネーターを配置し、学生のキャリア形成に関する支援を行う。

（1）各大学教育カリキュラム

ア 自治医科大学

自治医科大学の教育カリキュラムのうち、別添の内容（資料3-2）を卒前支援プロジェクトとして位置付ける。

イ 県内4大学（寄附講座）

各大学の寄附講座において実施する教育カリキュラム（資料3-2）を卒前支援プロジェクトとして位置付ける。

（2）研修会

ア 地域医療確保研修会【対象学生：地域卒学生】

地域医療に対する関心や、将来の地域卒医師としての役割の認識等の醸成を深めること等を目的として実施する。

イ へき地医療研修会【対象学生：自治医大生及び地域卒学生】

へき地診療所やへき地医療拠点病院、自治体などの協力のもと、地域医療への理解を深め、多種多様な職種・勤務地の医療関係者が交流を深めることを目的として実施する。へき地医療研修会を開催する。

（3）キャリアコーディネーターによる支援

キャリアコーディネーターは、県と連携・情報共有を行いつつ、対象学生からの相談に対応するなど、学生のキャリア形成のサポートを行う。